

## JAB GR200:2018 第10版 D2 へのパブリックコメント及び処置

No.	コメント提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメント 区分	コメント内容	提案	MS 技術委員会処置 (凡例 ○：採用、△：修正等、 ×：不採用)
1	DTSUS	付 表 1.2		T	モニタリングする「燃料使用量」について、「燃料重量」となっていますが、一般的に GHG の検証でモニタリングするのは液体燃料の重量ではなく「体積」です（単位発熱量の単位は GJ(MJ)/L(kL)）。	「燃料重量」→「燃料使用量（重量・体積）」又はシンプルに「燃料使用量」	× 採用しない。 付表 1-2 には、該当する国際航空を認定区分の対象とすることが妥当である。
2	DTSUS	付表 2 の 4		G	サーベイランス審査及び更新審査における立会い数について、ICAO CORSIA に基づく検証の場合、認定周期内の 3 回のサーベイランス審査及び更新審査で「2 件以上」としておりますが、案件数は非常に少ないと予想され（受注案件数はせいぜい年数件（1,2 件程度）と予想）、費用面でも非常負担です。また同じ検証先に高い頻度で立会をお願いすることとなると思われ、クライアントからの心象も悪くなる懸念されます。立会件数は「1 件以上」としていただきたいと思えます。	「2 件以上」→「1 件以上」	× 採用しない。 一般的な適合性評価の観点から、年次に実地審査立会を実施することが妥当である。尚、ICAOCORSIA 制度では、年次で検証を受審することが想定される。

注：コメント区分には、必ず「G（全般に関するコメント）」、「T（技術的コメント）」、「E（編集上のコメント）」又は「Q（質問）」の区分をご記入ください。